



1年ぶりの再会に

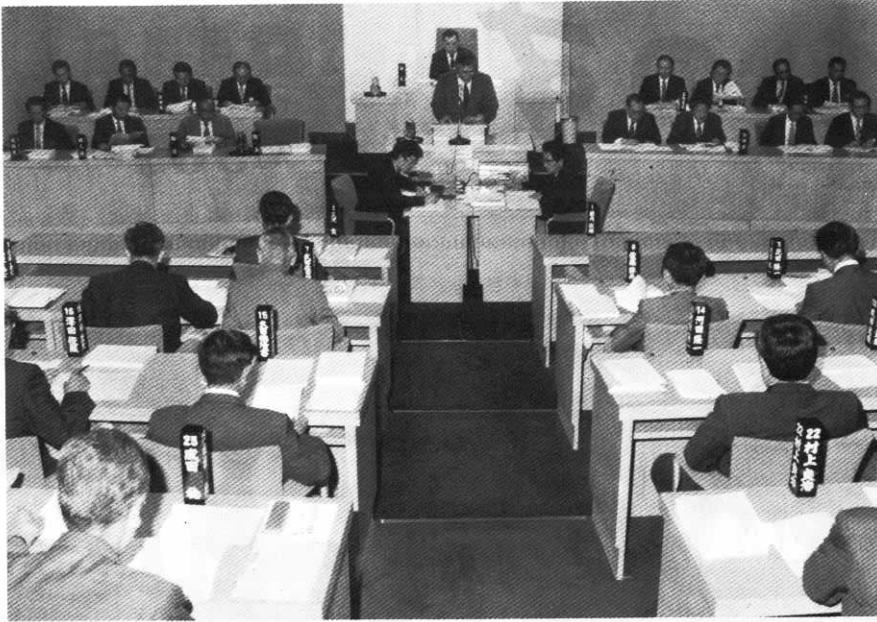
たのしく語り合う

長年にわたって地域の発展に貢献された70歳以上の方がたに感謝し、長寿を祝って、9月15日の「敬老の日」を中心に、町内では8会場で敬老式が行われました。ことしの対象者は昨年より60人多い2,160人（男869人、女1,291人）。綴子地区では婦人会の手踊りや唄などに耳を傾けながら、手厚いもてなしをうけ、一年ぶりの再会に楽しく語りあう光景がみられました。

人口と世帯数

（住民基本台帳による）

8月31日現在	(前月比)
総人口 25,033人	(8人増)
(出生 21人 転入 57人)	
(死亡 21人 転出 49人)	
男 12,189人	(10人増)
女 12,844人	(2人減)
世帯数 7,304世帯	(4世帯増)



六十年九月定例町議会は、九月十三日から二十一

日まで九日間の会期で開かれました。議会は初日

に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われ

たあと各常任委員会に付託、十七日は一般質問、十

八日から各常任委員会、最終日に本会議を開いて

閉会しました。九月定例会の行政報告は次のとお

りです。なお決定した議案は十月十五日付広報で

報告します。

9月 定例議会

行政報告

町行政の基礎づくりに行革懇談会

【総務課関係】町村合併三十周年記念事業は、町民多数の参加を得て計画どおり実施され、今後の計画についても鋭意作業を進めております。

簡素にして効率的な町政の実現のための行政改革懇談会も、単に減量経営、効率化、合理化という観点のみから捉えることなく、より積極的に今後の町行政の基礎的条件づくりの方向を見出すため、進めてきましたが、二回の委員会でも策定に盛りこむ意見の選択まで審議が進まず、九月下旬頃まで改善案を決定し、大綱策定を進めてまいります。

国勢調査は 万全の体制

【企画財政課関係】大正九年の第一回調査以来、五年ごとに行われている国勢調査は、十四回目にあたります。本町においても、九月一日より国勢調査実施本部を設置し、調査員百五十二人、指導員十一人計百六十三人を委嘱し、全体的に減少化傾向にある人口問題をかかえるなかで、十月一日現在の調査に万全の体制で対処しております。

【管財課関係】七日市松沢線の道路用地として取得した七日市宇山地下地について、残地の有効利用を図るため、さらに周辺農地を買収し宅地造成を計画いたします。

シートベルト の着用が義務

【町民課関係】消防施設の充実に合わせて団員の消火技術等の習得ならびに一般住民の防火意識の高揚を図るため、関係機関、北秋中央病院及び一般住民の多数の参加を得て防災訓練を実施しました。

本年度の敬老会は、十二日より十六日まで二千百六十五人の高齢者を対象に八会場において実施中です。交通対策では、道交法が九月一日より改正され、シートベルトの着用が義務づけられたので、警察署交通指導隊、安全協会等が協力のうえ、街頭指導を実施しております。

また、最近、老人の交通事故が多発傾向にあり、本町では老人の事故防止のため、老人クラブ内に交通対策部会を結成、交通安全の意識高揚に努めております。

乾電池等は分別収集で五百〇保管

【保険衛生課関係】使用済み乾電池等の処理については、厚生省から具体的な処理対策が示されるまでの措置として、昨年十一月から分別収集を実施し、現在約五百〇〇を保管中であり、これが昭和六十年七月二十四日付けで、次のとおり厚生省の基本的方向が示されました。

▽他のごみと合せて処理しても、環境汚染上、特に問題となる状況ではないこと。

▽このことは、乾電池の水銀含有量の低減化により、今後、一層確保される見込みであること。

▽より快適、より安全な生活環境を求める社会的ニーズには、経済的措置として、広域的な回収、処理センターの整備を進める。

以上の基本的方向が示され、秋田県においては九月中に全県の市町村実務担当者会議を開催し、なお検討しようとしております。本町においては、これらの具体的な方向が示されるまで、従前のとおり分別収集の方針であります。

集団検診は 前年を上廻る

疾病の早期発見、早期治療をはかり、住民の健康を守る各種検診は、現在（八月三十一日）、次の実績であります。

〔がん検診〕

▽胃がん検診 二千五百九十一人（前年度二千二百三十一人）
▽子宮がん検診 千三百三十三人（前年度千九百九十四人）

〔一般健康診査〕

▽一般診査 千九百九十一人（前年度七百七十四人）
▽精密診査 二百二十九人（前年度百七十五人）

〔結核検診〕

▽二千七百二十九人（前年度千七百八人）

献血事業は、本年度目標千八百本に対し、八月末現在七百八本で六五・六割の実績であります。

国保事業は、制度の改革に伴い国庫負担の削減により保険税の増額が要求され、税率の大幅な上昇の改正を余儀なくされました。改正後の税率による八月末現在の調停額は、五億千六百六十六万七千円となり、今後、収納率向上にお一層努め、国保財政の運用に対処する所存であります。

湯の岱温泉は一日 平均一六六人利用

〔商工観光課関係〕 鷹巣町中小企業振興資金制度（マルタカ融資）の利用状況は、八月末現在で二十三件、五千四百五万円、利用残高は百八十件、二億七千五百八十万八千円となり、預託額に対し三・九四倍の利用額になりました。

湯の岱温泉湯治場の利用状況は、八月末現在の操業日数は百四十三日で入浴利用者は二万四千七十一人、一日平均にすると百六十八人に当っております。

町村合併三十周年記念行事として、九月一日芸能フェスティバルを開催しました。午前は「子どもの広場」午後からは「郷土芸能と太鼓の競演」、夜は「ふれあいの広場」を設け、一日中、町内外からの参観者で

賑わいました。折あしくも、十三号台風に見舞われましたが、観衆から盛んな拍手を浴びました。この行事を開くにあたっては、各地区の郷土芸能保存会を始め、各出演団体、また国際青年年記念として町連合青年会、商店会創立三十周年記念として銀座通り商店会にそれぞれ行事を組んでいたが、多大なご協力をいただきました。

綴子太鼓が 筑波博で熱演

行事観光については、綴子神社祭典、鷹巣神社祭典、盆踊り大会等に、近隣町村からの入込客も多くなっております。また、科学博歴史館広場において、八月二十三日、いわてピアノ（盛岡）会場において、それぞれ日本一大太鼓を発表することができました。

貯木場跡地利用については、町民各階各層から二十人の方々をお願いして、跡地利用構想懇談会を設置し、現在までに三回の会議を開いております。意見集約は十一月頃をメドにしておりますが、大別して文化、公園等の施設と商業関連施設の意見が出されております。第五回鷹巣町産業祭は、十一月二日、三日、四日の三日間と決定し、「創造と熱意で地域おこし元年」をメインテーマに、町、商工会、農業協同組合、森林組合の四者になる実行委員会によって、準備が進められております。今年は、第五回目であり加えて町村合併三十周年に当たりますので、記念行事にふさわしい内容の充実に努めてまいりたいと町います。

転作面積は四四五 ヘクタールで一〇四%

〔農林課関係〕 今年の稲作は、七月十九日の梅雨明け以降連続の高温、多照の夏型気象条件にあつて、生育は順調に進み、出穂最盛期は平年に比べて三日早く、八月九日となっております。八月十五日現在の作柄は「やや良」で、台風十三号等により一部倒伏もみられるが、収穫期までこのまま推移すれば、二年続きの豊

作が期待されております。第一次転作確認の結果、転作目標四百二十七ヘクタールに対し、実施面積は四百四十五ヘクタールで達成率は一〇四%となっております。

八月八日農業、農村整備促進協議会が発足し、二カ年指定の整備計画策定事業に着手しました。

採択申請中であります鷹巣西部地区排水事業は、本年度中に採択の見込みで、今後の陳情により一部事業着手の可能性も出てきました。

県営事業としてすすめております鷹巣農免は、再三にわたる陳情が認められ、二千百万円の追加配分がありました。これにより、本年度中に橋梁新設と路体工の新設区間（一部舗装工、踏切拡幅除く）も完工することになるので、明年度後半から全線開通する見通しとなりました。

ことしの農業 災害は七十七件

六月、七月、八月の農業災害は、農地三十四件、農業施設四十三件で合計七十七件の被害を受けましたが、



新年度農業経営に支障のないよう災害復旧に努めてまいります。

大野台農業開発については、関係する集落から推進協力員二十八人を委嘱し、仮同意作業に入っております。

林構生活環境施設整備事業（補助率六〇％）林道大石沢線（二百五十九・八メートル）は八月五日完工、鷹巣宮林署と合併施工の併用林道大舟沢線舗装工事（八十九メートル）は八月十二日完工しました。

（建設課関係）八月末日までに発注済みの各種工事は、五十件、二億三百五十九万円、予算対比四六・八％となっております。

辺地債事業としての坊沢、前山線の改良工事、延長二千十メートル、幅員五メートルは、地権者の了解を得て稲刈後に発注の見通しがつきました。

六十年度的における公共土木施設災害は、七月十日より十八日に至る梅雨前線の豪雨出水による被害は、河川十三件、道路五件、十八件、復旧費四千七百二十万円の査定は、九月下旬に予定されております。

鷹巣小学校 プール完成

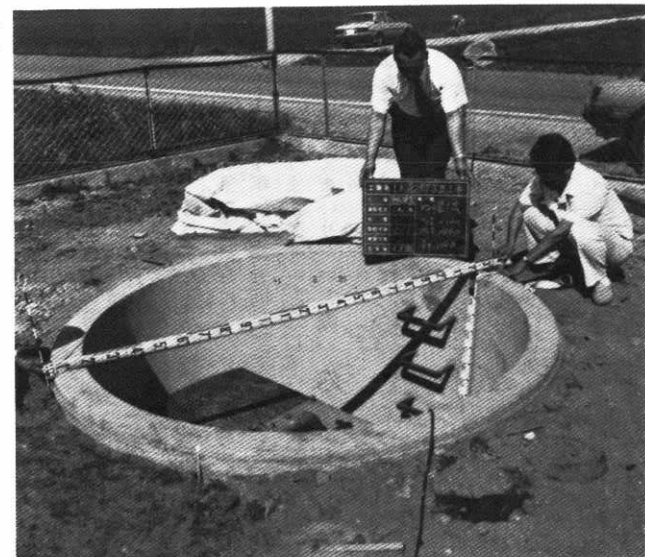
鷹巣小学校プールは、七月十九日に完成しました。

南中学校建設工事は、八月二十三日から着工し、現在杭打ち作業に入り、近々完工の予定であります。成人式は八月十五日、二百六十二人が参加し新成人のよろこびで賑わうと共に社会人としての自覚と誓いのもと、盛大に終了いたしました。

第二十三回町民体育祭は、九月一日合併三十周年記念大会として千五百人の町民参加のもと成功裡に終了しました。

上水道は夏場の高温でも順調

昭和六十年度水道事業における八月末現在の加入状況は、三千四件の計画に対し、三十三件増の三千三十三件の加入を見ており、夏期間の高温にともなう給水量の増とともに、順調に推移しているところでありま



す。

工事関係では、二号井改良工事が六月に完成し、夏場の水量不足はもとより、冬期間の温水対応など安定給水体制の確保にあたっております。

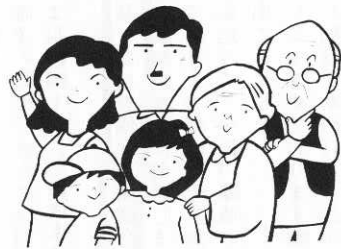
また、現在、東鷹巣橋（バイパス）配水本管取付工事は、県機関と協議により進行中であります。

一方、簡易水道の加入状況では二千七百七十七件で、前年対比で四件の増であります。

工事関係では、小田、田子ヶ沢地区の水量不足の解消を図るため、綴子簡易水道からの配水本管延長（上町・小田間）布設工事をもって緊急連絡体制を図る計画であります。

〔秋田内陸縦貫鉄道株式会社について〕未開通区間の比立内―松葉間の地方鉄道免許申請（六月十二日）を行っていましたが、八月三十日現地調査のため運輸審議会の一行が、鷹角線沿線を視察され九月十一日免許交付されました。

10月1日(火)は、
国勢調査の日です。



 **国勢調査**

秋冬期の出稼ぎ者合同選考会

出稼ぎの安全就労対策事業の一環として、秋冬期の出稼ぎ希望者を対象に、合同管理選考会を下記のとおり実施しますのでお知らせいたします。

▼日時 10月3日(木)午前9：30～正午まで
▼場所 鷹巣中央公民館分館ホール（旧鷹巣小学校体育館）

▼参加都府県事務所
東京、神奈川、埼玉、千葉、静岡、大阪、広島各都府県の建設、製造業などの事業所

婦人と町行政を語る会

町行政を理解し政治意識を高める

交流センターは明年以降に

婦人が政治を学習するとともに婦人の声を行政に反映させようと「婦人の町行政を語る会」を、九月五日（木）午後一時から役場三階大会議室で開催され、農産物の特産品の掘り起しや企業誘致、老人対策など、婦人らしいきめ細かな質問が続出していました。

ことは、国際婦人年と婦人参政権四十年ということから、町婦人団体連絡協議会（中島キヨ会長）と町明るい選挙推進協議会（長崎佐太吉会長）の共催で、「町行政を語る会」が開催

されたものです。

語る会には、各団体からあらかじめ質問を出している十一人と、この機会に学習を深めようとする婦人約六十人が参加。当局の答弁に熱心に耳を傾けていました。

はじめに中嶋会長は「婦人の政治意識を高め、町行政を婦人の立場から理解し、学習することにより、町のおかれている現状を認識し、私たちの生活と行政とのかわりから、町政の発展を願うものです」とあいさつ。つづいて、出川町長は町政全般にわたって説明しました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

▽文化活動の出来る施設がほしい
旧鷹小か貯木場跡地に広域交流センターを建設したい。図

書館、資料室などを併設し、六十一・二年の二ヶ年継続で計画したい。

▽特産品の指定と出張販売してはどうか
特産品の掘り起しが先決。東京交流会を開催したい。

▽祭典のあり方について
神事、各地区の事情があり、困難だと思いが祭典統一地区もあり、今後とも住民主導で取り組むべき。

▽一人暮らし老人と病人の付き添いについて
一人暮らしは百八十九人、寝たきり老人は六十人、老人世帯は五百七十世帯であるが、ヘルパー派遣を要する老人は数が少ないので、ヘルパーを強化したい。病人の付き添いは四・五人で一人をたのむようにしてはどうか。

▽男子型企業誘致について
大野台工業団地に五社進出しているが、町内から従業員四分の一にあたる百人が通勤している。地域全体の働き場所として、若者が就職できるよう学校、企業に働きかけたい。町でも人脈、ルートを生かしながら企業誘致に努めたい。

■1日（日）町民体育祭及び町村合併三十周年記念芸能フェスティバルが開催された。

■11日（水）12日（木）秋田内陸縦貫鉄道株式会社が申請中の鷹角線の未開通区間（比立内〜松葉間の二十九・三）に係る地方鉄道業の免許状がこの日（11日）運輸大臣から会社取締役社長（佐々木県知事）に交付され、沿線町村長も同席した。運輸省側からは「鷹角線は営業距離も長く、且つ人口集積も少ないので経営に当っては、会社をはじめ

■4日（水）県立鷹巣農林博物館整備報告会。県立農林高等学校の博物館は、昭和三十年代から開館されていたが、ここ十年来休館の状態であった。生徒の実習を兼ねて周辺の環境も面目一新され再スタート。一見に値する。

■5日（木）町の婦人団体連絡協議会の「町行政を語る会」が開催された。代表者十一人は婦人の立場から建設的な意見が提起された。



町長日誌

出川 禮一

9月1日～15日

■11日（水）中国から九年ぶりに高井哲子さん親子が、念願かなって永住のため帰国した。

■12日（木）15日（敬老の日）今年度の敬老式が青山荘はか町内七会場で開催され二千余人の敬老者を祝った。

また当日は、防災訓練が鷹巣阿仁広域消防署の範囲で実施され、雨のなか役場や中央病院では避難訓練、児童公園、米代町通りでは放水、また婦人による油の消火活動などが

行われ、実際さながらの緊張した訓練であった。



農作業も急ピッチ

標準労賃を参考に

実り豊かな秋を迎え、農作業も急ピッチで進んでいることと

思いますが、ことしの農作業標準労賃は、次のとおり協定されておりますのでお知らせします。

〔稲刈り〕▽整理（バインダー）

五千五百円 ▽未整理（バインダー）

五千五百円 ▽整理（コンバイン）

一万四千六百円 ▽未整理（コンバイン）

一万七千七百円 ▽ハーベスター

五千七百円 ※十坪当たりで

湿田は別途粉運搬は二千円増、一区画七坪は未整理とみなす。

〔穀乾燥〕▽二五・一％以上

千二百四十円 ▽二三・一～二五

％千四百四十円 ▽一九・一～

二三％千九百六十円 ▽一九％

以下千七百三十円（六〇・一）

〔穀摺〕六〇・一当たり六百二十

円

〔精米〕▽水稲うるち三千五百

円 ▽水稲もち三千八百五十円

▽搗二千四百円（百五十・一）

〔作業賃金〕▽男四千四百円 ▽

女三千八百円

農作業は安全に

農作業の合理化にともない、農機具の大型化が目立っていますが、このため作業中の事故が年々ふえてきています。

農繁期の短い期間を、安全で作業を行うため、次のことに気

文化祭に多くの町民が参加を

町づくりと文化を考えるをテーマに、町村合併三十周年記念行事の一つとして、第十七回鷹巣町文化祭（第五回産業祭同時開催）が、十一月二日から四日までの三日間開催されます。

中央公民館では、展示、協賛の各部門、鷹巣小学校では展示部門、鷹巣体育館は産業祭などの主会場になります。

町民総参加の記念すべき文化祭として、盛りあがるためにも日常の趣味として、また講座学

習で学んでこられた作品を、十月二十六日（土）まで、中央公民館までお届けください。

〔展示の部〕学級教育展、絵画展（幼児一般）、日本画、写真、銘石、生涯学習展、短歌、盆栽、健康、地域開発展、生花、書道、アマチュア無線、生きがいづくり展、文化財展（新）

〔協賛の部〕短歌会、文化座談会、文化財めぐり、史談会、古典文学、読書会、農業振興談話会、花いっぱい運動表彰式、講演

を付けてください。

■作業前後には、機械施設を充分点検整備して安全につとめる。

■故障したときはエンジンを止めてから点検する。

■トラクター、耕運機の運転に当っては、踏切りおよび道路での運行に注意し、無免許及び飲酒運転は絶対に行なわないこと。

■農薬等を取り扱うときは服装に注意し、農薬害を防ぐこと。

■機械や施設に老人や子供を近づけないようにすること。

■乾燥作業のときは油の取扱いに充分注意すること。

夜間当番医(夜間診療)の日程表

(午後6時30分～9時)

10月	曜日	医療機関名
1	火	佐藤外科消化器科医院
2	水	藤原医院
3	木	佐々木産婦人科医院
4	金	鷹巣病院
5	土	盛岡外科医院
6	日	戸嶋医院
7	月	戸嶋産婦人科医院
8	火	近藤医院
9	水	奈良医院
10	木	盛岡外科医院
11	金	北秋中央病院
12	土	佐々木産婦人科医院
13	日	藤原医院
14	月	鷹巣病院
15	火	佐藤外科消化器科医院
16	水	戸嶋医院
17	木	戸嶋産婦人科医院

[カギかけは、家族みんなの合言葉]

全国防犯運動

10月11日～10月20日

運動の重点

■侵入盗犯の防止

▽ワンドア、ツーロック

▽外出時には隣にひと声かけましょう

▽防犯へ、いつも心の非常ベル

■少年を取り巻く社会環境の浄化

▽有害環境を追放する

▽有害図書を子供に見せない運動を推進する

▽考えて、ぼくらが育つ環境

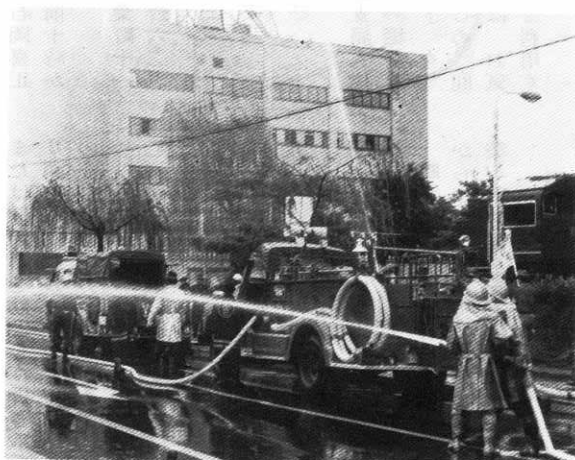
鷹巣阿仁広域消防本部では、花園町一帯で大火が発生したという想定で、防火訓練が九月七日実施され、町内にサイレンがけたたましく鳴り響きました。

役場では、重要書類を非常袋に入れて避難。屋上に逃げ遅れた職員やケガ人がいるということから、レンジャー部隊が出動、ロープを使って手際よく救出。中央病院では五階から救助袋を使って脱出するなど、遠巻きに見守る一般町民も緊張感がただよっていました。

また、米代町通りや児童公園では、消防車や可搬式ポンプで一斉放水を行うなど、近代消防の威力が発揮されました。

“大火発生”を想定し

大がかりな防火訓練を実施



高井哲子さんが中国から

9年ぶりに念願の永住帰国

中国残留孤児で九年前に里帰りした住吉町出身の高井哲子さん（48）＝吉林省磐石県＝は、念願の永住帰国の夢がかなない、末息子の子利運くん（21）と、九月七日「特急あけぼのの三号」で鷹巣駅に元氣な姿をみせました。

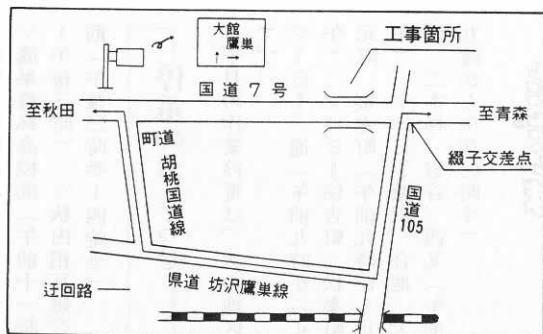
哲子さんは、洋服仕立業を営む父親の貞助さん（81）ら家族とともに旧満洲牡丹江市で生活していましたが、昭和二十一年六月頃遊びに出かけて行方不明になったもの。貞助さんと長兄の英敏さん（59）はソ連に抑留され、帰国命令を出された母親のイサさんが後髪を引かれる思いで帰国。五十年の中国残留孤児捜しで哲子さんの生存が確認されたものです。長い間本当にご苦労さまでした。

国道7号線の通行規制について

国道7号、綴子新橋床版打換工事のため下記のとおり通行制限を行いますのでご協力ください。

■期間 9月25日～10月5日間の午前0時から午前2時まで（片側交互通行、ただし幅2.5mをこえる車輛は通行禁止）

■迂回路 下記のとおり



共同募金

＜ことしの目標額は

3,976,000円＞



おしらせ

**最低賃金は一日
三千百五十五円**

県内で働くすべての労働者に適用する秋田県最低賃金が、次のとおり改正されました。

最低賃金額は、一日＝三千百五十五円 一時間＝三百九十五円となり、六十年十月十二日以降は、これより低い賃金で、労働者を使用することはできません。もし、違反した場合は、最低賃金法により罰せられます。

最低賃金について、不明の点があるときには、大館労働基準監督署へおたずねください。

行政相談は

10月13日～19日

秋田行政監察事務所では、行政に対する苦情、要望等の相談を受けています。

お困りになっていること、納得のいかないこと、希望したいことなど、どんな小さなことでも気軽ににお出ください。

巡回相談の日程、場所は次のとおりです。

▽14日＝西部農協 ▽15日＝綴子農協 ▽16日＝栄農協 ▽17日＝鷹巣農協 ▽18日＝七日市

農協 ▽13日・19日＝石岡喜正宅（時間はいずれも午前十時から午後三時まで）
行政相談委員は、松葉町十一番三三三号・石岡喜正（☎六二一四一三）さんです。

いじめ相談電話、ポストをご利用ください

秋田地方事務局大館支局人權擁護機関では、「いじめ相談電話」「いじめ相談ポスト」を、開設しましたので「いじめ」問題で悩みをお持ちの方は、お気軽に電話または手紙でご利用ください。

▽住所・電話番号

大館市三の九一三―一九 秋田地方事務局大館支局 ☎〇一八六―四二一六五一四

▽相談取扱時間

午前八時半から午後四時半まで、土曜日は正午までです。

道路交通センサス

この調査は、道路交通の現状と問題点を把握し、将来にわたる道路の整備計画を策定するための基礎資料を得る目的で、建設者と秋田県が全国的な規模で実施する調査です。

対象は鷹巣町の自動車登録台数の五％程度の台数で、調査員が十月中旬頃に自動車の所有者

または使用者を訪問し、聞き取り調査をいたしますので、訪問の際にはご協力お願いします。

違反建築の パトロール

十月十一日から十七日まで違反建築防止週間です。

この運動は、建築基準法の目的、内容について周知徹底を図ることを目的としております。

町では、十月十五日午前十時から午後三時まで、一斉公開建築パトロールを実施します。

県民手帳の 予約受付

六十一年用の「秋田県民手帳」の予約を受けています。

主な内容は、日記、資料、名簿、使覧の四編からなるビニール装幀の手帳で三百円です。

申し込みは、十月末日まで役場企画財政課財政係へ（☎六二一―一一一内線二四三）

スキー用品の チャリティーバザー

鷹巣スキーレーシングスポート少年団では、スキー用品チャリティー・バザーを十月二十日（午後一時～四時）中央公民館で開きます。

出品ご希望の方は、住所、氏名、電話番号のほか、有料（希望価格）無料の別を添えて十月十七日までに次の方へお届けください。

▽奈良正人（奈良医院）☎六二一―一四六 ▽野呂豊彦（鷹巣体育館）☎六二一―三八〇〇 ▽岩谷忠男（県北自動車学校）☎六二一―一八四五

母親教室

初妊婦を対象とした、母親教室は次のとおりです。

妊娠中から正しい知識を身につけて、充分な健康管理を行ない、安心して出産をむかえるよう、ぜひ受講してください。

▽日程＝十月二日と十一月六日の二日間で一コース。時間は午前十時から午後三時まで。

▽場所＝中央公民館保健相談室
▽受講内容＝映画、講話、調理と試食、実技（妊婦体操、赤ちゃんのお風呂の入れ方）など行ないます。

※歯ブラシ、母子手帳、昼食、ズボン（トレパン）をお持ちください。

献血にご協力を

献血車が九月十四日巡回してきますので、多くの町民がご協力くださるようお願いいたします。

停電のおしらせ

十月の作業停電は、次の地区です。

▽3日＝一通（午前九時から正午）
▽12日＝住吉町、松葉町、元町、桜木町（午前九時から正午）
▽18日＝糠沢、合地、大畑、二本杉、岩谷、西又（午前九時から午後〇時半）

たのしい 工事中

〔中岱都市下水路工事〕

▽工事場所＝鷹巣字西大柳地内
▽請負額＝二十五万四千円
▽請負者＝大川建設・大川仁吉郎
▽工事期限＝六十一年一月二十二日

〔道路維持工事〕

▽工事場所＝住吉町地内
▽請負額＝二百一十一万四千円
▽請負者＝東園土木・村上祐治
▽工事期限＝十月二十四日

〔舗装新設工事〕

▽工事場所＝小森字館ノ下地内
▽請負額＝百三十五万五千円
▽請負者＝佐藤建設・佐藤清治
▽工事期限＝十月二十四日



力作ぞろいの発明工夫展

夏休みの成果を多くの人たちに見てもらおうと、9月7・8の両日、第五回町発明工夫展が中央公民館で開かれました。町内の小学生の力作50点が展示され、いずれも子供のアイデアが素直に表現されており、「足の運動器」や「筆立て」「捕虫器」「兼用ほうき」など、立派なできばえに訪れる父母もびっくり。なお町長賞などが4点、金賞3点、銀賞17点が選ばれました。

第9回町民壮年ソフトボール大会が、9月8日鷹巣農林高校球場で開催され、町内から19チームが参加し

ました。メンバーは40歳以上の男性に女性1人を加えるとあって、各チームとも女性の配置に一苦労。お母さんや子供たちの声援をうけて珍プレーが続出。結局新舟見町に逆転勝ちした旭町が、二年連続七度目の優勝を飾り、10月に行われる県大会の出場権を得ました。

壮年ソフトは旭町が制す



綴子が青森県の覇者を破る

青森、秋田両県のスポーツ交流で、親善と技術の向上を図ろうと、第1回鷹巣町スポーツ少年団選抜バレーボール大会(女子)が9月8日鷹巣体育館で開かれました。大会には青森県から強豪3チームのほか、本県からは地元の綴子A、B、鷹巣など8チームが参加。

父母の見守るなかで手に汗を握る熱戦が展開されたが、綴子Aが青森県の覇者浦町スポ少を破り初優勝。

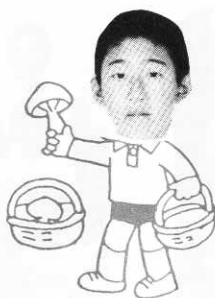
9月は秋まつりのシーズン、各地区では子供ミコシが町内を練り歩き、祭典を盛りあげていました。七日

市子供会では、父兄の応援をえて5年前にミコシを新調しましたが、ことしは一回り小さいミコシがプレゼントされ、9月8日の村まつりには、神社でお祓いのあと、幼児から中学生まで60人余りが参加して、かけ声勇ましく町内を一巡していました。

子供ミコシで祭典を盛りあげ



の広場



西小学校五年
藤内 拓也くん



私は、あと二カ月で九十二歳になります。
今私がやっておる健康法は、指圧と呼吸法と徒歩を基本として毎日の健康管理として習慣的にやっております。先づ朝床の中で、三呼二吸法（丹田呼吸法



昭和 渡辺 勝蔵（92）

今回のテーマ 『私の健康法』 指圧、呼吸法、徒歩

の一種）五分間やります。六時起床後三十分散歩します。汗がにじみ出る程度の徒歩です。
夜は寝る前に五分間首と腹部の指圧（脳卒中予防）床の中で前の呼吸法五分やります。また体調の変化に応じてその手当として指圧をやり、病気の一手手前で治すようにしています。月三回位全身の自己指圧をやり、これにより血液の循環と内分泌ホルモンの調整により自然自癒能力の賦治と新陳代謝に依る体質改善を促すためです。
また週一回位丹田呼吸法を二十分位やります。これは体の重

対談 親の意見・子供の意見



アブラチャン
（クスノキ科）

山地に生える落葉低木。早春葉に先きだつて淡黄色の花を枝いっぱい咲かせる。庭木にしている人もいる。果実は帯黄色に熟す。果実や樹皮に油を多く含みよく燃える。

（南小学校 畠山 益穂先生）

わたしの自慢こ

獅子踊りの太鼓をたたいて七十年

坊沢大町・津谷権九郎（84）

権九郎じいさんと言えは、坊沢の人達は知らない人はいないぐらいです。

農業をやりながら、長年町内会長を務め、現在坊沢獅子踊り保存会の顧問として、若い人達の指導にあたっています。今も太鼓をたたいております。

明治の人らしく、時間を守り、練習時間前三十分には会場に来て待つております。

八十四歳にもなるのに、太鼓となれば、右に出る人なし

で、うで自慢の権九郎じいさんです。

この度の町村合併三十周年記念「芸能フェスティバル」にも出て、若い人達にも負けずに頑張っております。

太鼓を、たたく時は口でリズムを取り「ダカダンケー、ダンデガ、ダン」と唱えながら指導しております。

獅子の太鼓をたたいて七十年、これも家族の人達の理解と健康であることが第一だと思ひます。

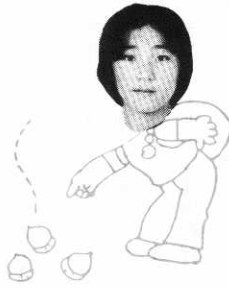
これからの、まだまだ長生きして、若い人達を指導し、坊沢獅子踊りを伝授させていただきたいものです。

筆談・城口健治さん





西小学校五年
高杉 幸子さん



みんな



心を臍下丹田におき、気力の充実を計ると同時に、酸素多給方式による健康法としてやっています。

健康老人育成のため熟年期以降の人の健康管理にもっと意欲をもたせるよう行政指導をやってもらいたいと思います。

バランスのとれた食事を



七日市
長岐 ヒサ (59)

八月の猛暑を無事きりぬけましたが、食欲の秋が到来し、何かと心配するのは、私の肥満体です。

広報のしおり

目の愛護デー
十月十日

「目の愛護デー」です。

日常生活で目の健康をチェックする簡単な方法はウイंक。片方ずつ目をつぶって見方に異常がないかを調べます。視野は、正面を向いて真横に両手を伸ばし、鼻の頭と両手先が見えるかどうかを調べます。

このチェック、特に目の成人

何如にして体重を減らし、足腰にかかる負担を取り、軽い体で毎日を快適に過ごし、肥満から起る血圧その他の病気を防ぐべく努力しています。

時々血圧測定のため医院へ向いてますが、その都度注意されるのが食事です。

十年間孫の相手をしているので、体もあまり動かさず、孫と一諸に食べる時間が多かったのです。今はあまり孫にも手がからなくなり、自ら老化を心配しています。

体を少しでも健康に保持出来る様なるべく歩く事、そして、充分な睡眠をとりバランスのとれた食事に心がけ、「今日の疲れを明日に残さぬ」これが私のまた、家族全員の健康法だとがんばっている昨今です。

病といわれる白内障、緑内障などの早期発見に役立ちます。

テレビを長時間見続けたり、本を読み続けて目を酷使すること、目を生理的に疲れさせます。テレビや本をしばらく休んで遠くを見たり、しばらく目をつぶって休み、疲労を回復させましょう。

目は心の窓であるとともに、肉体の好不調を映す体の窓でもあります。目への気配りを、どうか忘れずに。

昭和30年頃の稲刈り風景ですが、当時は9月10日過ぎには早生から刈り初め、シマダテ、ハサガケ、そして稲を家に運んでは脱穀するという重労働が2カ月近くも続いた。この季節になると子供も一家の働き手として活躍したものです。現在は大型機械等で作業も省力化されています。(坊沢・津谷清助氏提供)



たかのすの昔

おしらせ



一線美術会運営委員 九島寮二氏

十月の健康相談

十月の健康相談は、次のとおりです。

成人病健康相談は、九日と二十三日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで。血圧測定のほか、尿検査、体重測定など行います。

また、午前中は健康教育で、糖尿病予防の日常生活について、午後は健康体操など行います。

◇ ◇

一歳六か月児健康診査は、十八日、五十九年二月、三月生まれとなっております。

受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

母子手帳、問診票、バスタオルをお持ちください。

◇ ◇

フッ素イオンむし歯予防は、十八日です。

受付時間は、午後一時三十分

から三時まで。対象者は満三歳児以上で、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。※場所、いずれも中央公民館保健相談室です。

◇ ◇

乳児健康診査は二十四日です。対象者は六十年五月十六日から六月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

◇ ◇

離乳食指導と七か月児健康相談は、二十四日です。

対象は六十年二月十六日から三月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

つごうで受診できない場合は次回に受診してください。

※場所はいずれも鷹巣保健所で

行ないます。

麻疹(はしか)の予防接種

麻疹(はしか)の予防接種を十月十五日から十八日まで行いますので、この期間に接種を受けてください。

対象児は六十年十月十五日現在で生後十八か月から三十六か月になる幼児(ただし、生後十二か月から七二か月になる幼児も受けられる)となっております。

接種時に必要な接種券の交付は十月九日、十一日の二日間中央公民館保健相談室で行ないます。母子手帳を持参しておいでください。

接種してくだる病院(医院)は次のとおりです。時間はいずれも午後一時から二時まで。

▽15日 藤原医院 ▽16日 奈良医院 ▽17日 北秋中央病院 ▽18日 戸嶋内科医院

※接種料金(一人四千元)は、全額町で負担します。

※接種券、母子手帳、問診票を忘れずにお持ちください。

善意

▽米代町 坂本道雄さんから衣類九十二点

▽花園町 長内暁子さんから衣類六十四点

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽舟見町 田村久雄さんから亡母サタさんの香典返し

▽相善 能登谷幸雄さんから亡父多七さんの香典返し

▽松葉町 三沢武夫さんから亡母サタさんの香典返し

▽羽立 津谷徳男さんから亡祖母リサさんの香典返し

慶弔だより

9月1日～9月15日

誕生おめでとうございます

戸沢 正樹(健) 三男 幸町

津谷 聖児(庄一郎)二男 羽立

中嶋 建太(清巳)二男 堂ヶ岱

高橋 千鶴(敬一)二女 摩当

今月の納期は

町民税第三期、保険税第四期です

沢木 和樹(和博) 長男 小田
三国喜保子(剛俊) 長女 材木町
桜田 恵理(寿) 長女 堂ヶ岱
門藤 一馬(悟) 長男 花園町
中嶋 正人(吉正) 二男 舟場
笹代麻友子(初生) 長女 葛黒
岩谷 広大(忠弘) 長男 摩当

二人の前途を祝福いたします

堀内 好信 下町
吉田 敏子 田代町
津谷 健 街道町
藤盛 圭子 大館市
鈴木 広美 上舟木
畠山 薫 材木町
佐藤 明弘 舟場
津谷 和子 街道町
武田 悟 今泉
畠山 浩美 住吉町
沢田 隆 材木町
桜庭 竜子 松葉町

おくやみ申しあげます

三沢 サタ(85歳) 松葉町
田村 卯吉(69歳) 摩当
佐々木五郎(69歳) 南鷹巣
長崎由太郎(55歳) 今泉
成田マツエ(78歳) あけぼの
徳原 トヨ(73歳) 掛泥
畠山 国松(72歳) 脇神
三沢 テル(86歳) 新田中